『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー　その２

前回の学校便りでは、全体的な取組の概要についてお知らせしました。今号からは、具体的な取組についてお知らせしていきたいと考えます。今回は「発達の段階を踏まえた全学級における学習規律・生活規律の統一及び徹底」についてです。昨年度「６項目」設定して取り組んできましたが、子どもの自己評価や定着の様子などを基に、より質の向上を目指して見直しを図り、「７項目」にし『○○スタンダード７』としてリニューアルさせました。子どもたちにも定期的に自己評価させながら、しっかり定着され、習慣化するよう努めて参ります。

学習スタンダード：25年度

1．授業中は鉛筆を使います。
2．チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
3．名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。
4．発表や音読は大きな声でします。
5．話し手の方を向いて静かに聞きます。
6．字はいつもていねいに書きます。

学習スタンダード７：本年度

1．きめられた物だけ、机に置きます。（鉛筆・消しゴム・定規）
2．チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
3．名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。
4．よい姿勢で、話し手の方を向いて聞きます。
5．発表や音読は、みんなに聞こえる声でします。
6．「です」「ます」をつけて答えます。
7．字はいつもていねいに書きます。

生活スタンダード：25年度

1．あいさつは自分からします。
2．廊下や階段は右側を歩きます。（ホールも走りません）
3．相手の気持ちを考えて行動します。
4．机やロッカーはきれいに使います。
5．仕事は忘れず行います。
6．みんなで使う物を大事にします。

生活スタンダード７：本年度

1．あいさつは自分からします。
2．廊下や階段は右側を歩き、ホールも走りません。
3．相手が嫌な気持ちにならないような言葉づかいをします。
4．いすは机の中にしまいます。
5．自分の持ち物はきちんとしまいます。
6．自分の仕事は忘れずに行います。
7．みんなで使う物を大事にします。

（※下線部は、今年度見直しを図り、リニューアルした項目です↑）

また、子どものスタンダードの設定は、教師の指導スタンダードにもつながります。私たち教師も１時間１時間の授業を大切にするために、授業中に心がけるべき大事なことを守り、真摯に子どもたちと向き合いたいと考えています。

教師スタンダード７：本年度

1．チャイムと同時に授業を開始し、終了する。
2．子どもの名前は「さん」「くん」をつけて呼ぶ。
3．全員が聞く姿勢になってから話し始める。
4．丁寧でわかりやすい話し方に心がける。
5．子どもに考えさせ、表現させる場を設ける。
6．全ての子どもに出番があるよう配慮する。
7．丁寧で振り返りやすい板書に心がける。

“３”種類の〔スタンダード“７”〕→３×７＝“２１”→『２１世紀に生きる力』を子どもたちにつけさせるために、まずは「落ち着いた学習環境・生活環境づくり」をめざしたアプローチを継続的に行っていきたいと考えております。